

地方創生拠点整備交付金事業の効果検証シート

事業の名称		事業年度	担当課
原釜尾浜海水浴場ビーチバレーコート整備事業		令和2年度	生涯学習課
地域再生計画の名称		計画期間	
スポーツを軸とした交流人口拡大・観光振興事業		令和2年度～令和6年度	

相馬市地方創生総合戦略における位置づけ

分野	基本目標	数値目標 (R6)	
観光・交流	これまでの交流を活かし、新たな人の流れをつくる	観光客入込数	700,000人

事業概要

【施設整備等の内容】

- ・ビーチバレーコートの整備：通年常設型コート4面
- ・プレハブ管理棟の設置：1棟
- ・ビーチバレー競技用品の購入：ボール、支柱、得点板など

【施設整備の目的】

- ・通年での合宿誘致を行い、市外競技者と市民との交流の拠点とする。
- ・海水浴期間中に宿泊を伴う大会を誘致することで、松川浦周辺の宿泊施設利用者の増加を図る。
- ・継続した合宿および大会の誘致により、観光客入込客数の増加や観光客のリピーターにつなげ、交流人口の拡大を図る。

施設の活用方策

- ・海開きにあわせて海開きオープニング大会を開催するなど、海水浴期間中には3回程度大会を開催
- ・年4回程度のビーチバレー選手による教室を開催
- ・全国規模の大会の誘致・開催
- ・通年での関係団体（ビーチバレー協会等）と連携した合宿の誘致
- ・復興市民市場での地場産品を活用した食のイベントにあわせたビーチバレー体験会の開催

総事業費 (円)	交付金対象額 (円)	財源	
		交付金 (円)	市一般財源 (円)
16,573,546	15,900,346	7,950,173	8,623,373



写



重要業績評価指標 (KPI) ①：市外からのビーチバレー大会参加チーム数 (単位：チーム)						
	事業開始前 (R1年度)	1年目 (R2年度)	2年目 (R3年度)	3年目 (R4年度)	4年目 (R5年度)	5年目 (R6年度)
目標値	-	120	160	200	240	280
実績値	120	233	169			
重要業績評価指標 (KPI) ②：ビーチバレー大会の開催数 (単位：回)						
	事業開始前 (R1年度)	1年目 (R2年度)	2年目 (R3年度)	3年目 (R4年度)	4年目 (R5年度)	5年目 (R6年度)
目標値	-	3	4	5	6	7
実績値	3	4	4			
(参考) 総合戦略数値目標：観光客入込数 (単位：人)						
	基準値 (R1年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	-	-	-	-	-	700,000
実績値	613,657	534,118	1,429,168			
R3年度の取組内容等						
<ul style="list-style-type: none"> 海開きにあわせて海開きオープニング大会を開催するなど、海水浴期間中には4回の大会を開催 海水浴場駐車場にビーチバレーボール場の案内看板を設置 通年での関係団体（ビーチバレー協会等）と連携した大会の誘致を行い、県大会2回、東北大会1回を開催 令和3年度 利用者数 2,663人（内市外1,189人、県外174人） 利用団体数 148団体（内市外13団体内、県外4団体） 						
現状と課題						
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から令和3年度にかけて、利用件数及び利用者数も増加している。新型コロナウイルス感染拡大もあるが、屋外でのマスク着用の緩和などを契機として、引き続き利用者の増加に努めてまいりたい。併せて大会等の誘致についても引き続き取り組んでいきたい。 冬場の北西風によってビーチバレーコートの砂が移動することから、毎年4月に修繕の対応が必要。 						
今後の方向性						
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、利用者も増えておりビーチバレーコートの認知度も上がってきた。今後は全国規模の大会の開催にむけて、適切な管理の継続や観光協会と連携した誘致活動に努めてまいりたい。 						
外部評価委員会コメント						
<ul style="list-style-type: none"> 更衣室を検討してみてもいいでしょうか。 冬期の利用や砂の整地のことが心配。 初期費用は掛かるとは思いますが「防砂ネット」の強化をはかり、メンテナンスの省力化を図って下さい。市内のバレー団体との意思疎通を頻繁に行い他地区からの利用が増えるようお願いします。 高校生が国体に出場できて良かったと思います。地元コートがあるのが強みだと思います。応援したいと思います。 大会やイベントを開催することで他地域の人達との出会いや交流に繋がり、技術の向上にもなると思います。海水浴客にも利用してもらい、海水浴場の盛り上がりも期待します。観光協会と協力して盛り上げていって欲しいです。 各種大会や合宿の誘致・PRについて、商工観光課や民間の宿泊施設と更に連携した取組みが必要と考えます。 利用者数も増えてきており、認知度が高まりつつある大事な時期にあるように思います。利用者の意見をしっかりともらって、改善を進め更なる利用者の拡大を図りましょう。 						